



# かわちながの 働ライフ

KAWACHINAGANO HATA-LIFE

河内長野市で働く若者の仕事と暮らし

10

解体なくして創造なし  
株式会社「慶」の野原 靖宏さん

31歳で株式会社慶の統括本部長を務める野原靖宏さん。

中学を卒業後すぐにアルバイトで解体業界に入り、23歳で同社に入社。それ以来9年社長と二人三脚で、同社を大きく成長させてきました。

解体現場では、重機に乗りながら指揮をとる立場にある野原さん。仕事をすることで一番気を付けていることは「何より安全」とのこと。解体は危険を伴う作業も多く、若い部下の教育には特に気を配っ

ています。例えば、廃材の分け方や道具の整理、ダンプへの積み方など、すべてにおいて丁寧な作業を行う指導しています。また、「指示するだけではなく、自分の行動で示すことで若い子もついてきてくれます。この業界で長く活躍してほしい」と部下への思いを語ってくれました。

解体で出た廃材の多くはリサイクルできるため、鉄、プラスチック、アルミ、電線など一つ一つ細かく選別します。また、地面の下に隠れて見えないコンクリートの基礎もきれいに撤去します。消防署の解体では基礎がとてつもなく苦勞したとのことでした。「あとに建てることを考えて、丁寧に撤去することが大事です。それが信頼と次の仕事を生みます」と笑顔の中にも真剣なまなざしが印象的でした。



## 取材協力

総合建設・総合解体業 株式会社 慶  
原町 4-1-1 (☎ 50-4411)  
<http://yoshi-44.jp/>

社員は8人。低コストでクレームのない解体工事を目指し、作業の効率化や重機操作技術の向上を図りながら、適正な廃棄物処理を通じて環境保全にも貢献しています。また、出所者も積極的に引き受け、私生活も含めて見守っています。



## 子どもと遊ぶ時間を大切に…

結婚5年目。2歳になる長女が言葉を覚えだし、つたない話し方がかわいくて。普段は自宅前の公園のすべり台で遊び、休日はショッピングモールなどへ出かけています。10月には長男が生まれ、今ではお風呂に入れるのが日課。2人がもう少し大きくなったら、東京ディズニーランドや城崎温泉にも連れて行きたいです。このまちには、自然を残しながらも大きな会社やお店ができて、さらに発展することを期待しています。

